

いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18 承認 1953.6.29

http://iwakitaira-rc.jp/

■ 事 務 局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■ 例 会 場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■ 例 会 日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長:佐々木貢一 幹事:渡邊 有 発行:会報・広報委員会

2023年8月10日(木)晴れ 第 3313 例会 (6号)

外部卓話 SPEECH

第三次磐城平の戦い 磐城平城の落城



医療創生大学客員教授 いわき地域学会代表幹事 いわき市暮らしの伝承郷館長

> 夏 井 芳 徳様

磐城平藩の藩士、神谷外記が書 き残した記録をもとに、上坂助太

夫と相馬将監胤真との緊迫したやり取りや磐城平城 の落城の様子などを講話しました。

【講話の内容】

慶応4 (明治元1868) 年、戊辰戦争の際、磐城 平城は6月29日、7月1日、7月13日と、3度に わたって、新政府軍からの攻撃を受けました。

3度目の攻撃を受けた7月13日には、城下に新 政府軍が攻め入り、新川町や入保町、才槌小路、六 間門、田町などで激しい戦いが行われました。

劣勢となった磐城平藩など奥羽越列藩同盟軍は、 城内に引き揚げ、籠城して、戦うことになりました が、その後、戦況はますます不利になり、城に籠っ て戦うこともできなくなり、城を出ることが決定さ れました。

その際、磐城平藩の家老、上坂助太夫は、藩士た ちには城を出て、再起を期すよう命じましたが、自 分一人は城に残り、城を枕に討ち死にをするとの決 意を表明しました。

自らは城に残り、城を枕に討ち死にをすると言い 張る上坂を説得し、それを思いとどまらせたのは、 援軍を率い、磐城平に来ていた相馬藩の大将、相馬 将監胤真でした。

間、泉兵引戻り呉候様、赤見福太郎を遺候得共、同人初、引足 り無之、其後は如何致候哉、更に不存候。彼是致候内、大館権現山 其跡にて、敵、内町辺より、境村観音山へ繰出候由、注進有之候 隊程相詰候。然処、敵、高野村の方へも廻り候風聞に付、泉兵、 合候得共、敢て怪我無之、尤、小野崎右衛門、手の指少々怪我 上好間村町田辺へ繰出呉候様、外記、差図いたし、差遣候処 残り半小隊を引連出張致 候。尤、同所に仙藩一小隊、泉藩半 敵、北沢の方へ坂を下り来 候間、枡形胸壁より頻りに打

> 扉に烈敷中り、終に 門打折、扉明き候 様相成候に付、土俵、土俵 同所へ相越、防戦いたし候内に、敵方より、大小の炮丸、高麗御門 戦いたし、兵悉く労侯に付、あら手を乞侯間、外記、人数引連、

中へ引揚、尚又、及奮戦候。同日、神谷外記、久保町枡形御門 且、連々の戦ひに労れ候得共、尽力、防戦致候上にて、皆、城 隊長にて出張致し、尤、一小隊内半小隊は鎌田村関門へ相詰 敵味方の分ちも甚難儀に候得共、夫々、持場におゐて苦戦致 候 山辺に当り、探りの炮声、頻に相聞。尤、未明より朝霧深く 七月十三日、平城惣攻の風聞有之候処、極て払暁より、 其前、各藩之援兵、追々、引揚候後に付、至て手薄に相成 安良

「神谷外配書上げ」「磐城平春戊辰実験記

磐城平城落城

敵味方の大小炮、雨の降如く飛来り、御城中、処々、破烈致候得共 怪我無之、透問も無之打合に及び候。又、六間御門外、広小路に 候得共、兼て、要害堅固の城郭、中々以、落城の体、更に無之、 を遺し、其侭、八幡小路を過候処、六間御門外には相馬将監の 敵兵多勢押詰め、同所には彼相馬勢持場にて、如何にも奮 急ぎ御城中へ立入候処、案に不違、敵、田町迄 堂々と相固め、才槌小路、田町の方、如何にも炮声烈 押詰め

付、田町より御城中の方、無心元存候間、其場を急足に立戻り、 より向新町、御厩村の辺迄、平一面、敵、雲霞の如く攻寄候に 敵、押来候様子も無之候得共、御厩村の方に当り、鯨波の声頻り 八幡小路にて、彼窪町に残し置候兵、皆、御城中へ引揚候様伸 に相聞候間、先づ、中の坂、御茶屋の薬師跡より望候処、長橋 に付、外記、附属、四、五人を引連、急、同所へ相廻り候処、 上り候間、八幡小路、曲松の辺より襲来いたし候哉も難斗。右 候処、直様、 青雲院の方へ押行、同寺焼払ひ、又、孝経寺同断、火の手 権現行家放火いたし、 探りの炮声烈く打

おゐては、兼て御同盟の事故、拙者儀も一寸も不退、共に城を 開運の折も可有之、此儀は深く御思案可被成、弥、御承引無之に く、防戦の手立尽果、御小座敷におゐて、相馬将監、 て、頻りに打合候処、旱、薄暮にも及び、上坂助太夫殿駆附、 至極御尤には可有之候得共、拙国迄も御出被成候得ば、又、御 を人討死致候共、難立退旨被申述候処、将監、申候には、御覚与 冒申聞。此時、上坂助太夫殿には、旦那より此城預り候間 此両長へ相談も致候処、将監、申候には、無御拠御場合に差泊 無之候間、頭長、打寄、軍議致候処、明日の合戦、弾薬至てラ 万より打掛、弥、炮声烈く相成候得共、敵、城中へ攻入候様子 終る。夫より、夜に入、炮声、少々たゆみ候得共、又々、田町の たりの侍屋敷放火致し、引退候。夫にて、先、六間御門口の戦 同人指揮被致、玉之御門より横合を被入候処、敵たまり兼、あ り候間、兎も角も、先づ、拙国へ御同道可申候 間、御出可被成 御蔵より籾俵拾五、 六俵持来り、 右にて、門扉へ押当

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

司会:渡邊有幹事

〔点鐘・ロータリーソング (奉仕の理想)・四つのテ スト (遠山良浩会員)]



遠山良浩会員



◆会長挨拶ならびに報告



七夕まつり、いわきおどりは少し雨 素があったようですが、多くの人出でに ぎわいました。11 日は「山の日」です。 どうしてできたかは、「海の日」があ るのになぜ山がないのだとの議論が

あったようです。山の恩恵に感謝する日ですので、 お盆休みはそんなことも考えながら過ごして頂けた らと思います。

◆幹 事 報 告

- 郡山RCより会報が届きました。
- いわき平東RCより会報が届きまし た。



◆委員会報告・会員報告

◆出席委員会(小林隆太委員長)

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
8月10日	50 名	27 名	_

◆ロータリー財団委員会(野沢達也委員長)

佐々木貢一さん、野沢達也さん、越智正典さん、 森雄治さん、黒須幸雄さん、鈴木孝雄さん。

以上6件

◆米山記念奨学会委員会(森雄治委員長)

佐々木貢一さん、野沢達也さん、森雄治さん、黒 須幸雄さん、鈴木孝雄さん。 以上5件

◆スマイルボックス委員会(泉洋平副委員長)

♥佐々木貢一さん(いわき市暮らしの伝承郷館長夏 井芳徳様、卓話よろしくお願いいたします)**♥鈴木 東雄**さん(誕生祝ありがとうございます。80才にな りました)**♥黒須幸雄**さん(夏井先生、どうぞよろ しくお願いします。えくぼ姫の講義を受けました。 ありがとうございました) **♥高萩阿都志**さん(夏井 さん卓話ありがとうございます)♥関口武司さん(夏 井先生、卓話宜しくお願いします) **♥稲葉廣直**さん (夏井さま、卓話よろしくお願いします) ♥有賀行 **秀**さん (夏井様卓話楽しみです) ♥**飯野光世**さん (卓 話者夏井さんを歓迎して) ♥鈴木孝雄さん(本日も 宜しくお願い致します) ♥小野寺順正さん(夏井先 輩、お忘れでしょうか平二中陸上部後輩です。卓話 楽しみにしています) **♥泉洋平**さん(夏井様卓話よ ろしくお願いします)



- ★本日の例会案内 8月24日(木)12:30~ ガバナー公式訪問・第2回クラブ協議会 お食事メニュー=豚角煮
- ★次回の例会案内 8月31日(木)12:30~ 会員增強委員会担当卓話 松﨑智弘委員長 お食事メニュー=魚介のブイヤベース